



2019年1月30日

## 「マツダ CX-8」が 2018 年国内 3 列シート SUV 販売台数 第 1 位を獲得

マツダ株式会社(以下、マツダ)のクロスオーバーSUV「マツダ CX-8」が、国内 3 列シート SUV<sup>1</sup> 市場における 2018 年販売台数第 1 位(30,679 台)<sup>2</sup> を獲得しました。



マツダ CX-8 「XD L Package」

CX-8 は、3 列目まで大人がしっかり座れるパッケージングに、上質かつ洗練されたデザイン、街乗りから高速走行までドライバーの意図通りに走り、そしてすべての乗員が安心して移動時間を楽しめる快適性・静粛性を兼ね備えた、マツダ国内最上位の 3 列シート SUV です。

2017 年 12 月に CX-8 を導入して以降、国内 3 列シート SUV 市場は拡大しており、2018 年の販売台数は 2017 年比で 180%を超える成長を遂げていますが、その中でも CX-8 は約 50%の割合を占める、セグメントをリードする車です。「家族や友人とのドライブには多人数乗車が必要で、走りやデザイン性も諦めたくない」と考えるお客さまから、この多人数乗用車<sup>3</sup> の新たな選択肢としての提案が受け入れられています。幅広い世代のお客さまから、「多人数乗車を可能としながら、カッコよさを感じる」「乗り心地のよさや静粛性は想像以上」「3 列目は座り心地も広さも十分」といった評価をいただき、月間販売計画台数 1,200 台を超える好調な販売を続けています。

CX-8 は先進安全技術「i-ACTIVSENSE(アイ・アクティブセンス)」<sup>4</sup> を標準装備し、安全装備を充実しています。平成 29 年度の JNCAP 自動車アセスメント<sup>5</sup> 衝突安全性能評価において、「衝突安全性能評価ファイブスター賞」を最高得点<sup>6</sup> で受賞し、同アセスメントの予防安全性能評価においても平成 29 年度最高ランクとなる「ASV++」を満点で獲得するなど、衝突被害軽減から事故リスク低減まで、優れた安全性能が評価されています。また、2018 年 10 月には、2 種類のガソリンエンジンを設定し、お客さまの多様なニーズに応えるエンジンラインアップとしたほか、高速走行での車線変更時や滑りやすい路面での車両の挙動を安定させ、より安心感を高める「G-ベクタリング コントロール プラス」を導入し、継続して商品力の向上を図っています。

マツダは今後も、「地球」、「社会」、「人」とクルマが共存する世界の実現を目指し、「走る喜び」と「優れた環境・安全性能」を持つ商品をお届けすることで、お客さまの人生をより豊かにし、お客さまとの間に特別な絆を持ったブランドになることを目指してまいります。

以上

- 
- \*1 3列シート SUVとは、自販連区分オフロード 4WD(一部 2WD 含む)の国産車のうち、乗車定員 6名以上の車種を指す。
  - \*2 マツダ調べ。
  - \*3 多人数乗用車とは、乗車定員 6名以上の国産登録乗用車を指す。
  - \*4 人間を理解・信頼・尊重することを重視した中で、ドライバーが安全に運転できる状態を最大限に確保し、事故のリスクを最小限に抑制することを目指すマツダ独自の安全思想「MAZDA PROACTIVE SAFETY」にもとづき、開発したマツダの先進安全技術の総称。
  - \*5 JNCAP (Japan New Car Assessment Program) は、国土交通省と独立行政法人自動車事故対策機構 (NASVA) が、安全な自動車の普及を促進する目的で、平成7年度より公表している自動車の安全性能評価。現在市販されている自動車の安全性能について衝突安全性能および予防安全性能の評価結果を公表しています。
  - \*6 総合評価 208 点満点中、193.9 点の評価で、平成 29 年度の受験車中の最高得点を獲得。